

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 29年3月30日

計画の名称	尾道市公共下水道（防災・安全）			
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）	交付対象	尾道市	
計画の目標				

安定した公共水域の水質確保のため老朽化した施設の診断・計画・更新，また認可拡大に伴い雨水、ポンプ場を追加し公共下水道事業を実施する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ①下水道による都市浸水対策達成率を，35%（H22当初）から37%（H27末）に向上させる。
- ②更新が必要な7施設について，H27末までに更新を完了（100%）させる。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)	

- ①下水道による都市浸水対策達成率
浸水対策完了済面積（ha）/浸水対策を実施すべき面積（ha）
- ②平成27年度までの施設の更新
更新済施設数/更新対象施設数

35%	37%	37%	
0%	0%	100%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,272百万円	A	1,272百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---------------------------	------

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
本市都市部内組織にて評価を実施	平成28年度（事業終了後）
	公表の方法
	尾道市公式ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
A-1-1	下水道	一般	尾道市	直接	-	雨水	新設	尾道処理区雨水幹線整備（浸水対策）	φ400～ L=1.5km	尾道市						69	
A-1-2	下水道	一般	尾道市	直接	-	汚水	改築	尾道市浄化センター	自家発電設備375KV（水処理能力6,000m ³ /日）	尾道市						51	
A-1-3	下水道	一般	尾道市	直接	-	汚水	改築	尾道市浄化センター	最初沈澱池12.5m×3.0m（水処理能力6,000m ³ /日）	尾道市						312	
A-1-6	下水道	一般	尾道市	直接	-	汚水	改築	尾道市浄化センター	長寿命化診断・計画策定	尾道市						9	
A-1-7	下水道	一般	尾道市	直接	-	雨水	新設	高西東新涯ポンプ場	ポンプ場新設（土木・建築・機械電気）	尾道市						813	
A-2-1	下水道	一般	尾道市	直接	-	汚水	改築	マンホールポンプ改築	N=8箇所	尾道市						11	
A-1-8	下水道	一般	尾道市	直接	-	汚水	調査	尾道処理区管渠点検調査	2740m+6箇所	尾道市						7	
合計																1,272	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計																	

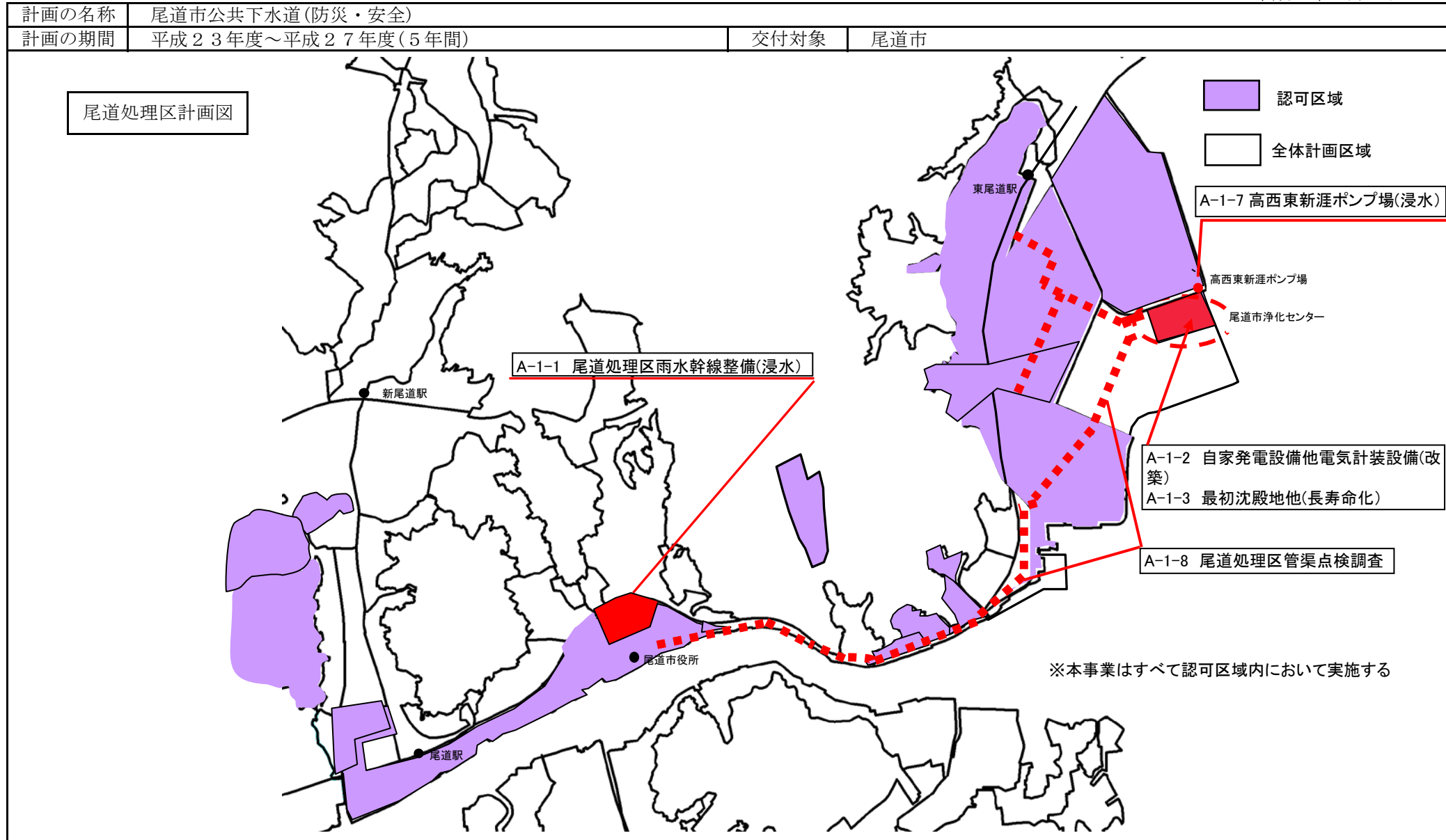
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
														合計	0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・本計画期間である平成23～27年度までに都市浸水対策達成率を、35%（H22当初）から37%（H27末）に向上させた。 ・本計画期間である平成23～27年度工事として更新が必要な7施設について更新工事を完了（100%）させた。 														
II 定量的指標の達成状況	指標① 都市浸水対策達成率	最終目標値	37%	目標値と実績値 に差が出た要因												
		最終実績値	37%													
	指標② 更新施設の完了	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因												
		最終実績値	100%													
			最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因											
			最終実績値													
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		<ul style="list-style-type: none"> ●尾道市浄化センター自家発電設備の更新により非常時の電源確保が出来た。御調町市処理区においてマンホールポンプの改築により、処理場の機能の健全化がはかれた。 														
3. 特記事項（今後の方針等）																
次期計画において		<ul style="list-style-type: none"> ・前計画に引き続き、持続可能な公共下水道の為に、尾道市公共下水道ストックマネジメント計画の策定を行い、施設・管路の改築更新を行う。 ・前計画に引き続き、高西東新涯ポンプ場を平成31年度末までに完成させ、浸水対策達成率の向上を図る。 														

社会資本総合整備計画

平成29年 3月30日



計画の名称	尾道市公共下水道(防災・安全)		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	尾道市

